

# 6月5日は環境の日、 6月は環境月間です



## 環境の日、環境月間とは？

環境の日は、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本からの提案を受けて6月5日を『世界環境デー』と定めています。日本では環境基本法によって、6月5日を『環境の日』と定めています。

また、環境省では環境の日を中心とする6月の1か月を『環境月間』と定め、環境保全活動の普及や啓発に関する各種の行事などを実施しています。

## 地球温暖化とは？

世界中で発生している異常気象や洪水・干ばつなどの自然災害。これらの原因の一つとして、地球温暖化が考えられており、大きな環境問題となつていきます。

6月5日は環境の日、6月は環境月間です。この機会に、一人一人が地球温暖化について正しく理解し、温暖化の原因となる温室効果ガス(二酸化炭素など)の削減に取り組みましょう。

環境課 環境係  
☎(21)5152

地球を包む大気には二酸化炭素などの温室効果ガスが含まれており、太陽によって温められた地表の熱が宇宙へ逃げるのを防いで、人間が生活しやすい一定の温度に保っています。この温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素が増えると、ガスの濃度が高くなり、熱の吸収量も増加してしまいます。これにより、地球の気温が次第に上昇する現象を「地球温暖化」と呼びます。

地球温暖化が進むと、海面の上昇による陸地の減少や、豪雨・干ばつなどの異常気象の増加、砂漠化の進行、病害虫の増加による農業への打撃など、自然や生活環境に悪影響が広がります。

## ※京都議定書で約束した6%の削減目標

2008年度は、地球環境にとって非常に大きな意味を持つ年です。なぜなら、京都議定書の第1約束期間(2008年～2012年)が始まり、国際公約として、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減に取り組まなければならないからです。

日本は、1990年と比較して6%の温室効果ガスの排出削減に取り組むこととなります。この6%の削減目標を実現するために、チーム・マイナス6%では、家庭において年間約3,700万トン、職場などにおいて年間約7,300万トンの二酸化炭素の削減目標を掲げています。皆さんも次のような取り組みを実践し、1人1日当たり1kgの二酸化炭素の削減に努めましょう(カッコ内は1日の二酸化炭素削減量)。

- ▼冷房の温度を26度から28度に設定する(83g)
- ▼冷房時間を1時間減らす(26g)
- ▼お風呂のお湯で体や頭を洗い、シャワーを使わない(371g)
- ▼シャワーの使用時間を1日1分短くする(74g)
- ▼前の人に続いてお風呂に入る(86g)
- ▼自動車の発進時にふんわりアクセル「eスタート」を心掛ける(207g)

- ▼アイドリングを5分短くする(63g)
- ▼買い物はマイバッグを持参(62g)
- ▼リサイクルできるものを、正しく分別して捨てる(52g)
- ▼電化製品の主電源を切る(65g)
- ▼炊飯器の保温をやめる(37g)
- ▼冷蔵庫と壁の間のすきまを正しく空ける(19g)
- ▼見ている時はテレビを消す(13g)
- ▼パソコンの使用を1時間減らす(デスクトップ13g、ノート2g)
- ▼白熱電球を電球型蛍光灯ランプに変える(45g)
- ▼ガス給湯器の温度を低めに設定する(29g)
- ▼太陽光発電を設置する(670g)
- ▼太陽熱利用温水器を設置する(408g)

※京都議定書：正式名称は「気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書」。1997年12月11日に京都府で開かれた第3回気候変動枠組条約締約国会議で議決した議定書。地球温暖化の原因となる温室効果ガスの一種である二酸化炭素やメタンなどの先進国における削減率を1990年を基準として各国別に定め(日本は6%)、約束期間内に目標値を達成することが定められた。

※チーム・マイナス6%：日本政府が主導する温室効果ガスを抑制するためのプロジェクトのタイトル。地球温暖化の現状を周知し、どのような行動が地球温暖化防止につながるのかを提示し、実践を呼びかけている。

## 日常生活における地球温暖化防止行動の実践度調査

〈平成20年3月度、チーム・マイナス6%によるインターネット調査〉

チーム・マイナス6%では、地球温暖化防止に関する意識や取り組みの現状を把握するため、チーム・マイナス6%に賛同・宣言している10代から60代の男女1,200人を対象に、毎月インターネット調査を行っています。

次にご紹介するのは、その主な調査結果です。皆さんも自分に置き換えながら、アンケートの結果をご覧ください。地球温暖化防止についてお考えください。

### 意識に関する調査

- 「工」貢献指数(日常生活における地球温暖化防止行動の実践度を100点満点で自己採点した点数の平均)：54.5点
- 地球温暖化の問題に「非常に関心がある」と答えた方：28.2%
- 地球温暖化防止のために「自分自身が省エネを心掛け実践すること」で、地球温暖化防止に必ず貢献できると思う」と答えた方：27.5%

### 取組に関する調査

- 暖房を使用する場合について「設定温度を20度以下にしている」と答えた方：46.7%

- 入浴する際のシャワーについて「体や頭を洗い流すときなど必要な場合以外は、シャワーを止めている」と答えた方：56.4%
- 自動車の運転について「交差点や路上などでの停車中は、エンジンを切るようにしている」と答えた方：8.8%
- 購入品の省エネに対する意識について「省エネ家電や省エネ商品を買うようにしている」と答えた方：32.1%
- デパートやスーパー、コンビニエンスストア、小売店などでの買い物について「レジ袋や紙袋などを断るようになっている」と答えた方：38.2%
- 家庭での電化製品の使用について「使用していない電化製品は、コンセントを抜いている」と答えた方：30.7%

